

(対象期間：2022/6/6～2022/6/10)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年6月10日)

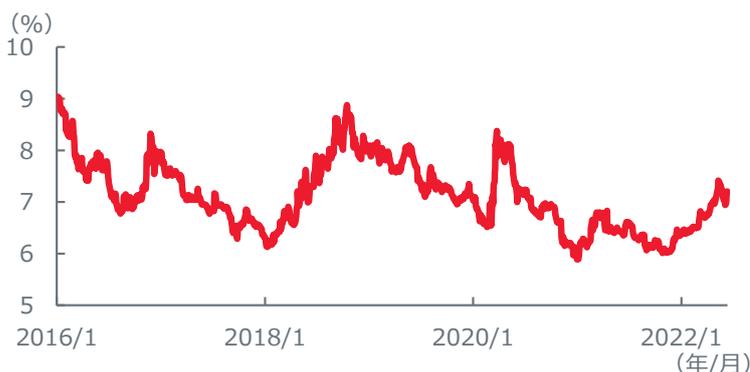


【株式市場】

6日は外国人投資家の資金流入がみられましたが、国内投資家からの利益確定売りに押され、銀行株などの大型株を中心にインドネシア株式市場は下落しました。その後は中国の石炭価格の高騰を背景に石炭株が大幅に上昇するなど、堅調に推移しました。しかし、9日に利益確定売りがみられ下落すると、10日も前日の米国株の下落を受けて投資家心理が悪化する中、引き続き大手銀行株や商品関連株などが利益確定売りに押され下落しました。インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/6/3	2022/6/10	変化率
7,182.96	7,086.65	-1.34%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年6月10日)



【債券市場】

6日のインドネシア10年国債利回りは、7日の国債入札を前にやや上昇（価格は下落）しました。国債入札は応札額が前回は上回りました。8日も外国人投資家からの資金流入はありましたが、米国債の利回り上昇や原油価格の上昇などが嫌気され、利回りは大幅に上昇しました。その後欧州中央銀行（ECB）がインフレ抑制に向けて利上げに踏み切る方針を示したことから欧米債券の利回りが上昇したことや、通貨ルピアの下落などを受けて、インドネシアの債券利回りは週末にかけて更に上昇しました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2022/6/3	2022/6/10	変化幅
6.941	7.205	+0.264

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年6月10日)



【為替市場】

週初、株式や債券市場への外国人投資家の資金流入などを背景にルピアは底堅い展開となりました。しかしその後、原油価格の上昇などを背景にインフレ懸念が高まったことや、米国債利回り上昇などを受けてルピアは対米ドルで下落しました。一方対円では、日米金利差の拡大が意識され円安が加速しルピアは上昇しました。ルピアは前週末比対米ドルでは下落、対円では上昇しました。

2022/6/3	2022/6/10	変化率
0.9018	0.9193	+1.94%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。